



自転車安全点検・整備を行いました

生徒の命を守り、生徒自ら自転車の点検・整備を心がける意識付けを目的として、11月19日(金)に本校生徒の自転車約400台を専門家ボランティア(金子哲様・大河輝昭様・三浦郁夫様)の力をお借りして点検・整備を行いました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



自転車点検・整備を受けて 伊藤実憂 (1年・沖野中出身)

自転車点検を終えるまで私の自転車は、何が悪くて、どこを直したらいいのかわかりませんでした。私の自転車はライトとカゴが壊れていました。乗っていて特に不都合はなかったのですが気にかけてはいませんでした。点検後、ライトが壊れていることによる夜道の危険性や、壊れたカゴに荷物を入れて自転車に乗ることにより、荷物がずれ落ちたときの危険性についての細かい説明を受け、自分の自転車について理解を深める機会となりました。ボランティアの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



修学旅行を実施

12月2日(日)～5日(水)、2学年において関西方面への修学旅行を実施しました。京都市内の散策では天候に恵まれ、京都の文化に触れ、有意義な研修となりました。大阪のUSJでは生徒が満面の笑顔で、楽しむ姿が見られました。

修学旅行に参加して

小野聖仁 (2年・岩沼中出身)

私は今回の修学旅行で初めて関西を訪れました。どの場所も宮城県とは違う雰囲気です。少し緊張しました。自主研修で印象に残った場所は世界文化遺産である銀閣寺です。教科書でしか見たことのない銀閣寺でしたが、訪れてみてこの場所が国宝として認められている理由がわかりました。建物だけではなく、景色も最高のものでした。クラス別自主研修で訪れた奈良の東大寺は、本殿の大きさに圧倒されましたが、現在のものは当時の大きさの3分の2と聞かされ大変驚きました。修学旅行に参加して、写真ではない実物を見ることができて本当に良かったと思います。お世話になった皆様ありがとうございました。



高校書道展参加

12月4日(火)～9日(日)に県美術館で高校書道展が開催され、「漢字」部門で多くの生徒が入賞を果たしました。

【推薦】

小川愛己 (2年・亶理中出身) 官澤莉奈 (2年・槻木中出身)

【特選】

亀井晴陽 (3年・坂元中出身) 前澤 凜 (3年・槻木中出身)

菊地 葵 (2年・岩沼西中出身) 鈴木真白 (2年・亶理中出身)

【金賞】

及川令華 (3年・袋原中出身) 富浦唯衣 (2年・名取一中出身)

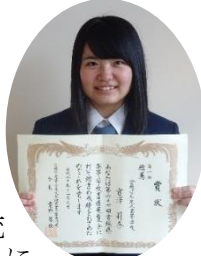
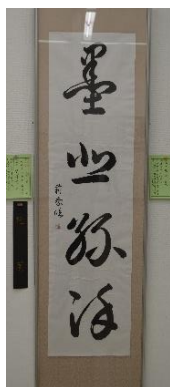
長田菜央 (2年・岩沼西中出身) 石川奈美 (1年・袋原中出身)

佐々木茉友 (1年・岩沼中出身)

推薦を受賞して

官澤莉奈 (2年・槻木中出身)

初めて四文字という少ない字数に挑戦しました。バランスの取り方や草書の特徴である流れるような字を書くことにとても苦戦しましたが、毎日練習していくうちに、自分でも上達していることを感じ、楽しさとやる気が満ち溢れてきました。今回このような賞を受賞することができ、とても嬉しかったです。これからも日々の練習を積み重ね、技術の向上を目指します。先生方の丁寧な指導のおかげと感謝しています。



高大連携事業実施

本校では、教職への理解を深め、これからの日本の教育を担う高い志を持つ若い人材の育成を目指した高大連携事業を実施しています。今年は、



11月9日(金)に尚絅学院大学と、11月21日(水)に仙台大学と連携して実施しました。今年度中に東北学院大学との間でも実施する予定です。

参加した学生さん方の感想をご紹介します。

- ・体育教師とは何だろうか。自分自身を見直したい(仙台大)
- ・授業内容が自分の生活に直接繋がっていくものだった(仙台大)
- ・生徒の一人ひとりをよく見て生徒の成長を大切に授業していると感じた(仙台大)
- ・教員という以前により良い社会人になるためにどうするかを学んだ(尚絅学院大)
- ・教育実習で倫理の授業を担当したが、自分とは全く違ったアプローチで興味深い内容だった(尚絅学院大)

今月は十一月十九日(月)に自転車点検・整備でお世話になりました金子哲様にインタビューしました。金子様は高校・大学と自転車競技部に所属し、大学卒業後は、各種オイルを取り扱う会社に勤務しながら、自転車を趣味として現在も乗り続けていらつしやいます。

(株) 公洋商事 営業部 金子 哲 様

Q 自転車点検・整備を始めたきっかけは?

A 金澤校長の前任校である仙台大志高校で自転車事故を減らしたいと話題となり、PTAの役員をしていた妻から相談を受けました。自転車のプロとして、何かできることはないかと思立ち、仲間三人と大志高校にお邪魔したことがきっかけとなり、現在も続けています。

Q 自転車点検・整備の意義は?

A 「点検したから修理してきなさい」と言っただけで実際に直してくる生徒は少ないと思います。プロとして、たとえ中古の部品でも修理することによって安全・快適に自転車に乗って欲しいという思いから整備まで行っています。繰り返し点検・整備をしていると生徒自身が興味を持ち始め、お互いに注意し合うようになったことが嬉しかったことです。自分の使用するものを大切にすることを養うことが大事です。同時に、このような活動をおして多くの人と繋がることもできます。人間関係は、お金では買えませんからね。

Q 日頃から心がけていることは?

A 「成果に対する報酬は後から付いてくる!」「本業の成果に対して付いてくるかもしれないし、全く関係のないところから付いてくるかもしれない。だから目の前のことに精一杯に取り組むことが大切である。」と、公洋商事の社長から入社当時いただいた言葉です。常にこの言葉を心がけて行動するようにしています。そして何事にも全力で取り組み、人を笑顔にして、自分も笑顔になることを心がけて生活しています。

Q 北高生の自転車整備状況は?

A レッドカードが思いのほか少なかったのでは?と思っています。ただし、小さなトラブルをそのままにして使用していると思いがけない事故に発展する恐れがありますので、年間に数回、点検・整備を繰り返す必要があります。また、回数を重ねるうちに自発的にこの行事に参加・協力する生徒が出てくると更に安全に対する意識の高揚が図れると思います。

Q 北高生の印象は?

A 明るくチームワークがとれていると感じました。自発的に自主点検などが増えてくるのではないかと予想され、期待のできる学校だと思います。心に余裕を感じさせ、高校生活を満喫している様子がうかがえます。三年間おつきあいができそうな予感がします。

Q 北高生にメッセージを!

A とにかく、今やらなければならぬことに精一杯取り組んでください。自分のためにもと思うとイライラするし、疲れるのであきらめが早くなりますが、誰かのためだと思ふと力が湧いてきます。できなくて当たり前だし、うまくいかなくても当たり前です。でもうまくいったときの喜びは何倍にもなります。成果による報酬を早急に求めるのではなく、まずは行動してみてください。何かいいことが起こりますよ。



文芸コンクール全国大会で入選

三品百花 (3年・亘理中出身)

私の俳句が三句も、県・全国のコンクールで入選できたことをとても嬉しく思っています。今回応募した作品は十句で、その半分は文芸部誌に掲載したものをベースにしています。作品提出直前まで言葉の並び順や助詞の一字まで見直し推敲しました。その中の一句が全国大会の入選に選定されました。あの時見直しをして本当によかったと思っています。私の作品は感覚や思いつきを大切にしたいものが多いので、それを評価していただけたことに感謝します。



家庭クラブ東北大会参加

12月14日(金)、家庭クラブの東北大会が岩沼市で開催され、本校から**本田春菜**さん(1年・岩沼中出身)が参加し、優秀賞をいただきました。「無駄のない食生活」～廃棄物0%を目指して～という題で発表しました。詳細は1月号でお知らせいたします。

高体連リーダー養成講座に参加

—サッカー部—

日下 慎二 (2年・亘理中出身)

リーダー養成講座に参加して、多くの学校の参加者とリーダーの役割や責任について学びました。分科会では、積極的にお互いの意見を出し合いリーダーとしての課題、解決方法について話し合いました。この講座で学んだことを、部活動等の中で還元し、より良い学校生活を送れるよう取り組んでいきたいと思っています。このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



伊藤 大晴 (1年・増田中出身)

今回参加したリーダー養成講座でボトムアップ理論を学ぶことができました。ボトムアップ理論とは指導者に安易に解決策を指導してもらうのではなく、学ぶ者が話し合い解決策を考え行動に移すというものです。講座に参加して学んだことをクラスや部活動の中で還元し、チームとしてより良くなっていくように力を発揮していきたいと思っています。勉強の機会をいただきありがとうございました。

